

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 24/Nov/2020/vol.615



国産フィンガーライム（高知県産） Finger Limes (Cultivated in Japan)

この「コンシェルジュ」誌上で、アメリカからの輸入でフレッシュのフィンガーライムを一番最初にご紹介したのが2012年秋の事でした。正規輸入商品として先駆けてご案内でき、お手元にお届けできた事がついこの間のように思われます。その時から約8年後、年々その姿は話題にも上りテレビやWEB、情報誌などで取り上げられ、ご利用も多くなってまいりました。ほかに無い不思議なライムの粒、キラキラと光るビーズのように煌びやかに香るフィンガーライムは、見た目も味もアクセントとなり人の目を喜ばせる素材となっております。数年前から日本でも栽培をしているという話を聞いておりましたが、なかなか流通ベースには乗らず、その数の少なさからほとんど一部の間でしか知られていませんでした。つい最近の事ですが、フィンガーライムの「苗」が、少しずつ日本でも販売され始めているのを見たと思えば、高知県の農家から収穫されたばかりのフレッシュ・フィンガーライムが到着をいたしました。柑橘栽培の技術がある高知県だからでしょうか、実の大きさも外皮の色もまだ輸入のクオリティまでとはいきませんが、中の粒もしっかりとしており、香りも味も幾分濃く感じます。数はまだ少量、色はミックスで個体のバラツキもありますが、将来日本での栽培が軌道に乗りますと、またお使いになる幅も広がってくるかもしれません。これからの動向に注目です。